

CX-M 判別モデルプログラム実行専用 エッジコンピューティングマシン

CX-M Edge



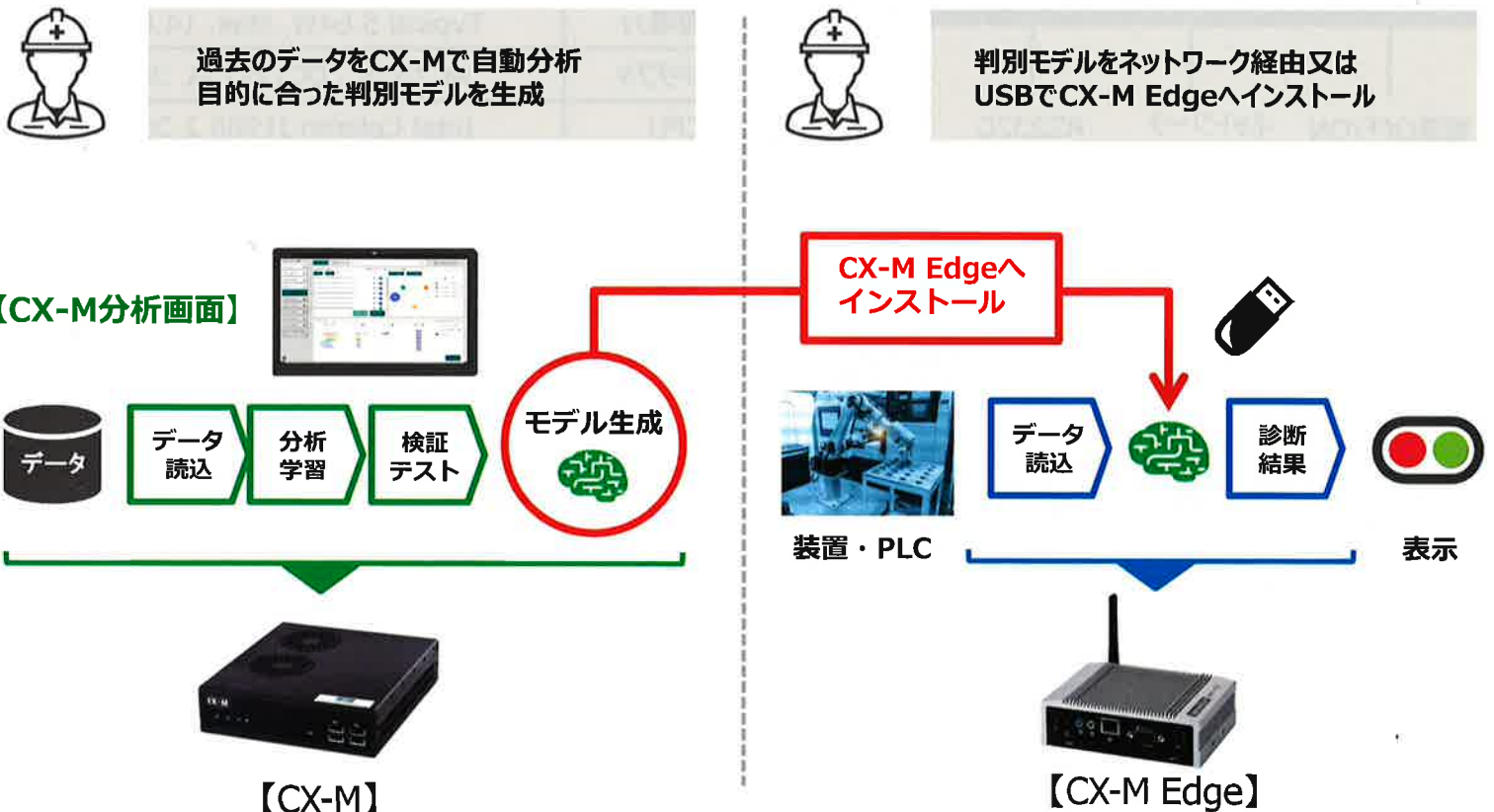
様々な生産現場で設備・品質状態を即時に診断します



CX-M Edgeは、CX-Mで作成した判別モデルを開発することなく、即時に診断を実現することができるエッジコンピューティング専用の産業用PCです。これにより、利用者はよりスピーディーなシステム構築が可能になります。

蓄積データを分析・モデル生成

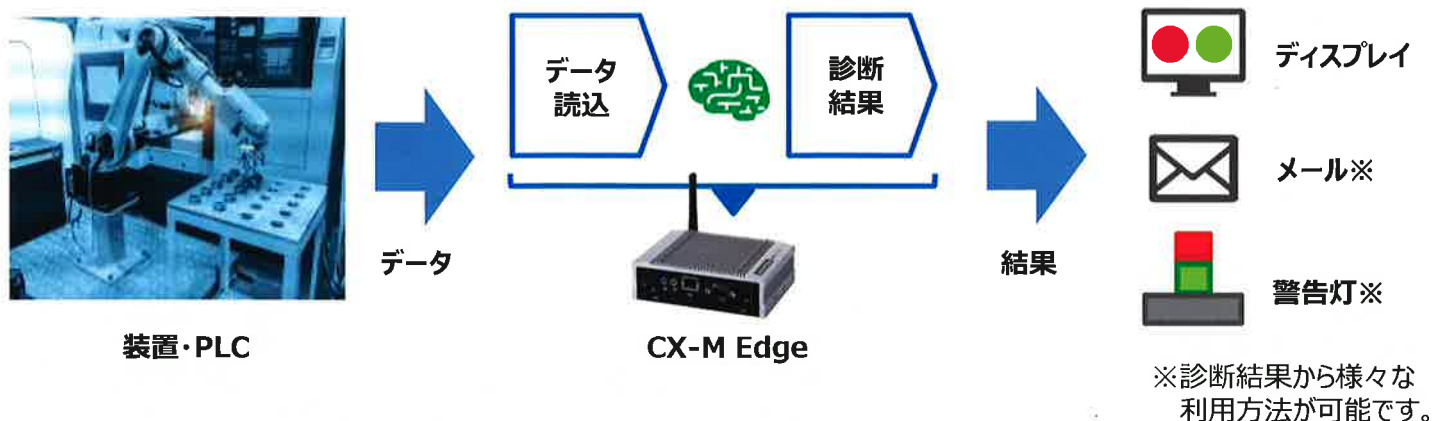
即時状態診断



東京エレクトロン デバイス

■主な利用方法

装置からのセンシングデータやPLCで得られたデータを「CX-M Edge」に送ることで、CX-Mで作成した判別モデルが即時に状態を診断します。診断結果はカスタマイズすることで様々な利用方法、通知方法が可能です。今まで監視が行えなかった装置でも、装置状態を反映したデータ（センサー・PLC）を取得することで、装置の状態監視をエッジコンピューティングで実現します。

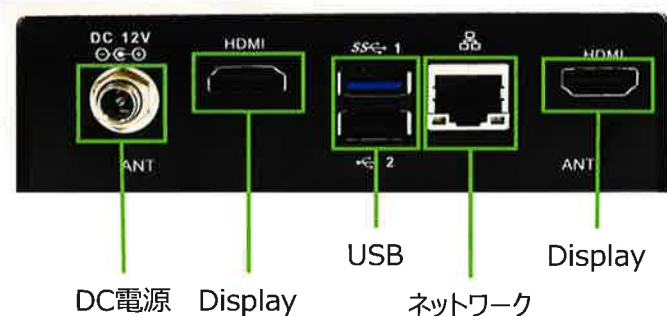


■ハードウェア仕様

【前面】



【背面】



【緒元】

項目	製品仕様
筐体サイズ	133.8(幅) x 43.1(高) x 94.2(奥) mm
筐体重量	0.8kg
消費電力	Typical 5.64W, Max. 14.04W
ACアダプタ	AC to DC, DC12V/3A, 36W
CPU	Intel Celeron J1900 2.0GHz
メモリ	8GB
DISK	SSD:32GB
OS	Ubuntu
動作環境	温度0 ~ 60℃
インターフェース	USB2.0 × 2, USB3.0 × 1
	RS-232/422/485 × 1 (BIOS selectable)
	LAN GbE × 2
	HDMI × 2
	Audio LineIN × 1, LineOUT × 1
	Wifi 802.11 a/b/g/n/ac, RTL8821AE, with BT4.0

